

時間：13：30～17：50（開場13：00）

会場：学習院大学目白キャンパス 西5号館 202教室

※入場無料・事前申し込み不要

2015年 12月 12日（土）

学習院大学史学会

2015年度例会

歴史のなかの**儀礼**と**権力**

—支配者**権力**の象徴機能と**秩序**形成—

趣旨説明 13：30～13：35

第1部 13：35～14：20

桃崎 有一郎 氏（高千穂大学商学部教授）

「北条氏権力の専制化と鎌倉幕府儀礼体系の再構築

—得宗権力は将軍権力篡奪を志向したか—（仮題）」

第2部 14：30～15：15

岸 泰子 氏（九州大学大学院芸術工学研究院准教授）

「近世京都における朝儀の場の特性とその秩序—葬送を中心に—（仮題）」

第3部 15：25～16：10

小山 啓子 氏（神戸大学大学院人文学研究科准教授）

「国王儀礼にみる近世フランスの君主制秩序」

コメント（家永 遵嗣 教授・中野 隆生 教授）質疑応答 16：20～17：50

※終了後、懇親会を予定しております。

お問い合わせ：〒171-8588 東京都豊島区目白 1-5-1 学習院大学文学部史学科 学習院大学史学会

Mail: shigakukaitaikai@yahoo.co.jp（担当：神野 峻至）

HP: <http://www-cc.gakushuin.ac.jp/~hist-soc/index.html>

# 学習院大学史学会2015年度例会

## 歴史のなかの儀礼と権力

### —支配者権力の象徴機能と秩序形成—

#### 御挨拶

歴史学において儀礼と権力の問題は重要なテーマとなっています。とくに支配者権力を中心とした、儀礼の機能の一部としての象徴機能や秩序形成に関する調査・研究が進展してきました。歴史における統治や支配の有した多様な機能についての理解を深める上で、支配者権力の象徴機能と秩序形成のあり方は重要な論点となっています。この問題を考える機会として、今年度の例会では「歴史のなかの儀礼と権力—支配者権力の象徴機能と秩序形成—」と題するシンポジウム形式講演会を開催いたします。このたびは研究の第一線で活躍する3名の研究者をお招きして、それぞれの時代と地域からご講演いただけることになりました。歴史のなかの儀礼と権力の問題を再考する絶好の機会となります。是非とも足をお運びください。

#### 講師略歴

##### 桃崎 有一郎 氏

1978年生。慶應義塾大学大学院文学研究科後期博士課程修了、博士(史学)。現在、高千穂大学商学部教授。専門は日本中世史。主著に『中世京都の空間構造と礼節体系』(思文閣出版、2010年)。

##### 岸 泰子 氏

1975年生。京都大学大学院工学研究科生活空間学専攻博士後期課程研究指導認定退学、博士(工学)。現在、九州大学大学院芸術工学研究院准教授。専門は建築・都市史(日本・近世)。主著に『近世の禁裏と都市空間』(思文閣出版、2014年)。

##### 小山 啓子 氏

1971年生。九州大学大学院比較社会文化研究科博士後期課程単位取得退学、博士(比較社会文化)。現在、神戸大学大学院人文学研究科准教授。専門はフランス近世史。主著に、『フランス・ルネサンス王政と都市社会—リヨンを中心として—』(九州大学出版会、2006年)。

#### 交通手段

JR山手線「目白駅」より  
徒歩3分

東京メトロ副都心線  
「雑司ヶ谷駅」より徒歩  
5分

